

なな ふ み

7.23災害から14年



編集 / 薩摩川内市消防局予防課 <http://www.satsumasendai.lg.jp>

薩摩川内市消防局

検索



平成18年7月19日から23日にかけて、梅雨前線の活動が活発化し、薩摩地方北部を中心に記録的な大雨となりました。

鹿児島県北部を流れる川内川の総雨量は、多いところで1,000mmを超え、この雨量は全国平均の年間365日に降る雨の約70%が5日間で降るといふ猛烈な雨でありました。約5万人に避難勧告が発令され、死者5名、負傷者9名、浸水家屋2,347戸、浸水面積は2,777haに及び、薩摩川内市久住町の久住橋が崩壊するなどの甚大な被害が発生しました。

この水害は「7.23(ななふみ)災害」と呼ばれ、14年の月日が経とうとしています。近年でも、梅雨前線、台風、異常気象などにより、全国各地で自然災害が頻発しており、7.23災害のような水害が再び、いつ発生するかもわかりません。今一度、災害への心構えや備えをしておきましょう。



自然災害から身を守るために **今** できること!

防災について家族で話し合おう

- ① 家族一人一人の役割分担を確認する。
- ② 家屋内外の危険箇所を確認して、補強などの対策をする。
- ③ 非常持ち出し品を確認する。
- ④ 緊急時の連絡方法や、避難場所を確認する。



【非常持ち出し品】

- 懐中電灯
- 非常食・水
- 携帯ラジオ
- 貴重品
- 救急薬品・常備薬
- お薬手帳 など



避難ルート歩いてみよう

実際に避難所まで歩いてみて、危険箇所を通らないルートを確認しておきましょう。また避難の際は、非常持ち出し品はリュックなど、両手を使えるものを用意し、なるべく夜の暗い時間帯の避難をせず、早めの避難を心掛けましょう。

事前に防災マップに目を通し、あらかじめ自宅周辺の危険箇所を把握して、**災害を想定しておく**ことも大切です。



薩摩川内市消防局1階の防災研修センターにて、**暴風雨や地震、煙などの模擬体験**ができます! 災害の恐さを体感し、防災知識を養いましょう!



防災マップを活用しましょう!



救急隊からのお知らせ

熱中症

～このような症状が出たら救急車の要請を!～



自分で水分補給ができない



脱力感や倦怠感が強く、動けない場合や意識がない場合



全身のけいれんがある